

USプロジェクト

プログラム①

社会人スキル開発プログラム

社会で求められるスキル・スタンスを高校生で体感。リクルート社員が実際に活用しているスキルマップを元に、朋優学院オリジナルプログラムを実施します。リクルート社員講演、オフィス見学、自己の強み開発・課題克服などを行うプログラムです。

見立てる

構造で捉え俯瞰して見る力

本当に解くべき問題は何かを事実をもとに多角的に体系立てて考える力

分析的に捉え問題を特定する力

現状を定量的に分析し、問題の原因を特定する力

仕立てる

筋のよい仮説を立てる力

物事の本質を洞察し勤所よく肝を掴む力

プロセスを作り込む力

課題遂行の道筋をたてゴールに至る工程を設計する力

動かす

ビジョンを打ち出す力

自らの考えを明確に打ち出し、論理的に説明する力

人を理解し統率する力

人のエネルギーを高め、目指す方向に人を引っ張る力

スキルアップの詳細はこちら



プログラム②

自立学習プログラム

様々なエピソードや思いを持つ東大生講師たちが講義を実施。講義の前後では各自で宿題（ワークシートやスタディサプリ）に取り組み、次回講義で個別フィードバックを行う年間プロジェクトです。

[詳細は裏面参照→](#)

自立学習プログラム詳細

1 逆転合格東大生のリアルな実体験が聞ける！

みなさんが思っているより、東大・最難関国公立・医学部は身近なもの。
逆転合格した東大生の体験談を聞いて、モチベーション高く勉強しましょう！

2 最新かつ複数のデータに基づく受験戦略や勉強法を伝授！

東大生が合格するために考えた受験戦略や実際のノート・手帳などが見れます！
自分に合う戦略・勉強法にカスタムし、科目数が多い国公立受験を効率的に対策しましょう！

3 充実の個別フィードバックサポート

講義後にはワークシートを提出してもらい、フィードバックを実施。聞くだけではなく、自分の行動を変化させるところまで、一貫してサポート。合格に向けてPDCAサイクルを回していきましょう！

東大生講師紹介

■西岡 尙誠 経済学部4年生 : 偏差値35から東大合格

学年ビリから、2浪で自分の勉強法を一から見直し、どうすれば成績が上がるのかを徹底的に考え抜いた結果、東大に合格。著書『東大読書』シリーズは累計40万部のベストセラーに。漫画『ドラゴン桜2』の編集やドラマ日曜劇場『ドラゴン桜』の脚本監修を担当。MBS「100%!アピールちゃん」「月曜の蛙、大海を知る」にてタレントの小倉優子さんの受験をサポート。



■永田耕作 教育学部4年生 : 部活動でのPDCAを勉強にも活かし東大合格、教育学部に文転

■松島かれん 農学部4年生 : 量と質を伴った地道な努力で東大合格、農学部で理転

■榎本美咲 医学部4年生 : 高校史上初めての理科三类への現役合格

■山田亮進 文学部4年生 : 独自の勉強法と努力で東大合格、文学部に文転

■布施川天馬 文学部4年生 : 世帯年収300万から東大合格、ネット記事の人気ライター

■伊藤まどか 教養学部3年生 : 公立校から塾なし単願で合格、大学でもダブルダッチで全国出場

■亀田峻 理学部物理学科4年生 : オープンキャンパスで憧れの研究室を見つけ東大受験を決意

■川上悠輔 工学部3年生 : 部活動と両立して地方の公立高校から東大に現役合格

■本井春香 農学部3年生 : 獣医を目指してひたすらインプット/アウトプットの繰り返し

■橋本匠 教育学部3年生 : 競技かるた好きの東大生、子どもの支援活動に関心を示している

■笹川絢加 教養学部3年生 : 県立女子校出身の東大生。大学でも実行委員などで精力的に活動。

■橋口豊 理科1類2年生 : 都立高校出身の東大生。数学オリンピックへの出場経験あり。

今月のテーマ

1年間の振り返り 2年生に向けた準備

今回の講義では、1年間の振り返りを実施しました。勉強することの楽しさ・勉強リズムの作り方・大学生活を知る・授業の受け方を考える・高校と大学のつながり、これらの5回で皆さんが感じたことや考えたことを時間をかけて振り返りました。振り返ること、そして時間がたったタイミングで挑戦すること、そんなにつまらなくなかったと感じていただけていたら嬉しいです。

山際講師 (文3)



これまでを振り返り、今を通して次に一歩を踏み出す。自分の推進力は過去の自分であるということを感じることができるとは嬉しいですね。USプロジェクトを通して考えた経験を他の場面に活かしてもらえると嬉しいです。

少しずつ受験が近づいてきていますね。さあ、この春休みを、自分史上1番勉強する毎日しよう！今の成績がどうあれ、成績はすぐに入れ替わります。勉強への取り組み方に迷ったときは、私たちが取り組んだワークやスライドを思い出してください。君たちなら大丈夫。講師一同、心の底から応援しています。

受験までの道のり

高校1年生の進路希望調査で「東大」と記入したことをきっかけに、東大を目指すことにしました。バスケットボール部で週6で練習があったので、高校3年生の夏までは平日は1~2時間程度しか勉強できませんでした。なので、高校2年生までは、主に数学・国語(古文・漢文)・英語の基礎固めに注力し、引退までに赤チャートや文法・単語の土台を完璧に仕上げることに集中することにしました。特に、長期休みなど、学校がなくて勉強時間が確保しやすい期間は、少し長期的な目標(例:チャート1週・古文単語3週など)を立てて、基礎を強化するようにしていました。引退後は、地歴の勉強の比重を重くし、国数英は応用問題の演習にとりかかりました。高校2年生までこつこつ築き上げた土台があったおかげで、引退後も着実に成績が上がっていき、本番は割と余裕をもった点数で合格することができました。



ティティエー講師
(公共政策大学院)

山田講師 (文学部)



改めて、講義お疲れ様でした。講義の内容を思ったよりも忘れていた人も、思っていたよりも覚えていた人もいたかなと思います。人間の記憶ってそんなにあてにならない。記憶媒体ではないんですね。振り返って考えて、見直す。考えること。考え続けること。USプロジェクトを通して考えた経験を他の場面に活かしてもらえると嬉しいです。

勉強のモチベーションはどうやって保っていましたか？

YouTubeで芸人のネタや大喜利、動物園公式チャンネルの動画などを見て笑ったり癒されたりしていました。そして、やるべきことを1日で出来る量に小分けしてデイリーミッション化して終わったらなにでもいいようにしていました。

高校でやっておけばよかったと思うことはありますか？



松岡講師
(工学部)

我が高校生活に一片の悔い無し！・・・嘘です。勉強することが少ない間に苦手教科を早い段階から補強しておくべきだったかなと思います。あととこの教科が足を引っ張ることになります。量こそなすと成績は上がりますが、その量やるには時間が必要ですので。

高校編

講 師 取 材

大学編

大学に入って良かったと思う時はどんな時ですか？

ある学問分野について異常に詳しい人にたくさん出会えたことです。自分一人では調べもせず、興味も持たなかったであろう話をそういう人たちから聞いて、自分の知らない面白い学問があると知れるのでとても楽しいです。また、自らの力で先に進んでいるそういった人々を見ると、自分も前に進まなきゃという気持ちになります。

川上講師
(工学部)

大学に行こうと思った理由は何ですか？

自分の専攻したい分野が明確に決まっていないため、進振り制度を利用したいと考えたからです。高校の時は受験などで自分の興味のある分野について勉強する時間が取りづらかったため、大学に入ってから本当に進みたい道を探すためにさまざまな勉強をしています。



みんなのQ & A

みんながアンケートに書いてくれた質問にお答えします！！



塚原講師
(理工学部)



碓氷講師
(教育学部)

Q 勉強のモチベーションが上がらない時の対処法を教えてください。

受験は長期戦なので、モチベーションを保つのは大事ですね。こんな方法をとってみてください。①定期テスト、模試など1か月ごとに目標を決める。何か目標があるとそこに向かって、勉強できるのでおすすめ。受験本番という大きく遠い目標だけだとなかなかゴールが見えず続けるのが大変になる事が多い。点数という数値になるのも、モチベーションに繋がりがやすい。②話せる友達、先生、知り合いをつくる。受験をやっていると、自分のなかだけで思っている事をため込みがち。それに加えて、何かもやもやすんだけどということもあると思う。そんな時はだれかと話そう。この時に悩みを解決しようと思わなくてもいい。ただ、誰かと話すというだけで、なぜか心が晴れるなんてこともよくある。③受験が終わった後の自分を考える。自分はどんな人になるのか、なりたいのか。ぼんやりとしたことで、考えずらいと思うが、自分の原動力の核を自分なりに考え、深める事で自然と前に進める。

A

Q 受験に対する意識が変わったのはいつですか？

そこまで大きく意識が変わることはなかったですが、本格的な受験勉強を始めたのは高校3年の春です。それまでも勉強は比較的しっかりやっていましたが、そこからはさらに明確な目的意識を持って、どの科目も合格のためのステップアップを意識しながら机に向かうようになったと思います。

A

Q 勉強が嫌だったのに続けられた要因はなんだと思いますか？

目標が明確であることではないでしょうか。私は大して勉強が嫌というわけではなかったですが、たまにやめてしまいたいと思うことはありました。それでも、誰かに勝ちたい、テストで1位を取りたい、東大に受かりたい、という明確な目標があったから、やらなきゃという気持ちになって頑張ることができていたのだと思います。目標はなんだっていいと思います。優越感でもなんでも、原動力にできそうなものはすべて使いこなして、机に向かえるように自分を動かしましょう。

A

Q 受験期に悩んだことやその解決方法を教えてください！

結果が予想できないことに一番苦しめられたと思います。定期テストであれば、ある程度範囲が定まっていますし、それまでのテストでの先生の問題の出し方などからどんな問題が出るかある程度予想できます。そうであれば、自分の勉強量から、今回はこれくらい取れそうだな、と推定することができます。ですが、受験は幅広い範囲の中から、レベルの高い問題が出される。自分の実力がその問題にどれくらい通用するのか、いまいち正確な予想ができず、合格できないかもしれないという不安が心を蝕みます。でも、そこで止まっているのは実力は上がりません。1点でも多く稼ぐために、立ち止まるべきではないと考えて、自分を鼓舞しました。

A

これはUSプロジェクトの講義を皆さんの学校生活を「整く」ためのプリントです。皆さんが出てくれた質問に答えたり、講師がどのように勉強をして東大合格に至ったかを紹介していきます。ぜひ、読んで普段の勉強に生かしてください。